

雑賀崎・田野地区 ワークショップのまとめ（資源）

【眺望の景観】

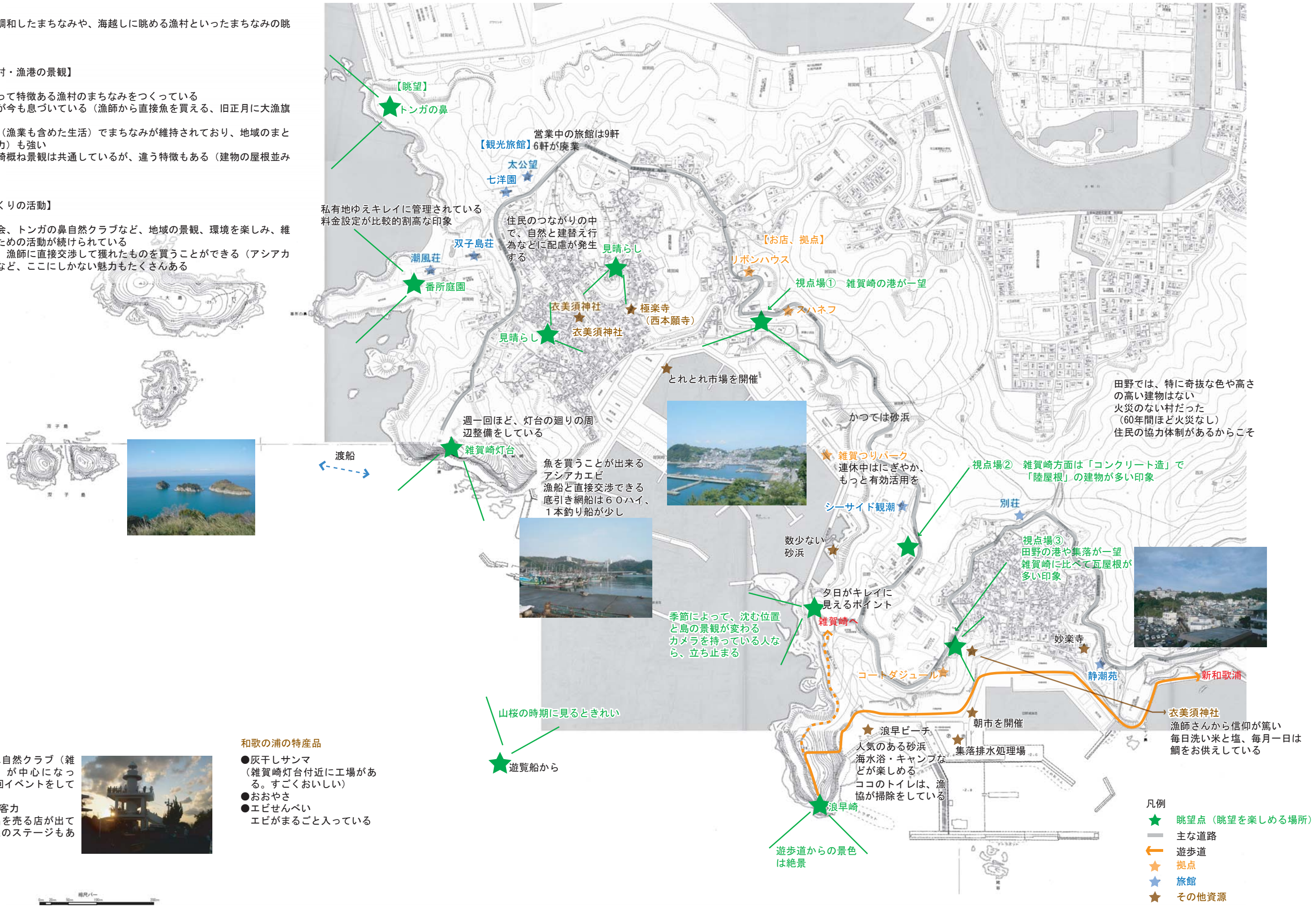
- 高台からの調和したまちなみや、海越しに眺める漁村といったまちなみの眺めも美しい

【特徴ある漁村・漁港の景観】

- 家が寄せ合って特徴ある漁村のまちなみをつくっている
- 漁業の風景が今も息づいている（漁師から直接魚を買える、旧正月に大漁旗が見られる）
- 人の暮らし（漁業も含めた生活）でまちなみが維持されており、地域のまとまり（結束力）も強い
- 田野・雑賀崎概ね景観は共通しているが、違う特徴もある（建物の屋根並みなど）

【景観まちづくりの活動】

- 夕日を見る会、トンガの鼻自然クラブなど、地域の景観、環境を楽しみ、維持していくための活動が続けられている
- 雑賀崎では、漁師に直接交渉して獲れたものを買うことができる（アジアカエビなど）、ここにしかない魅力もたくさんある



夕日を見る会

- トンガの鼻自然クラブ（雑賀崎の人）が中心になって、年に2回イベントをしている
- かなりの集客力
- 手づくり品を売る店が出ていて、音楽のステージもあり楽しめる



和歌の浦の特産品

- 灰干しサンマ（雑賀崎灯台付近に工場がある。すごくおいしい）
- おおよさ
- エビせんべい
- エビがまるごと入っている

山桜の時期に見るときれい

遊覧船から

遊歩道からの景色は絶景

- 凡例
- ★ 眺望点（眺望を楽しめる場所）
 - 主な道路
 - ← 遊歩道
 - ★ 拠点
 - ★ 旅館
 - ★ その他資源

雑賀崎・田野地区 ワークショップのまとめ (課題)

【眺望の景観】

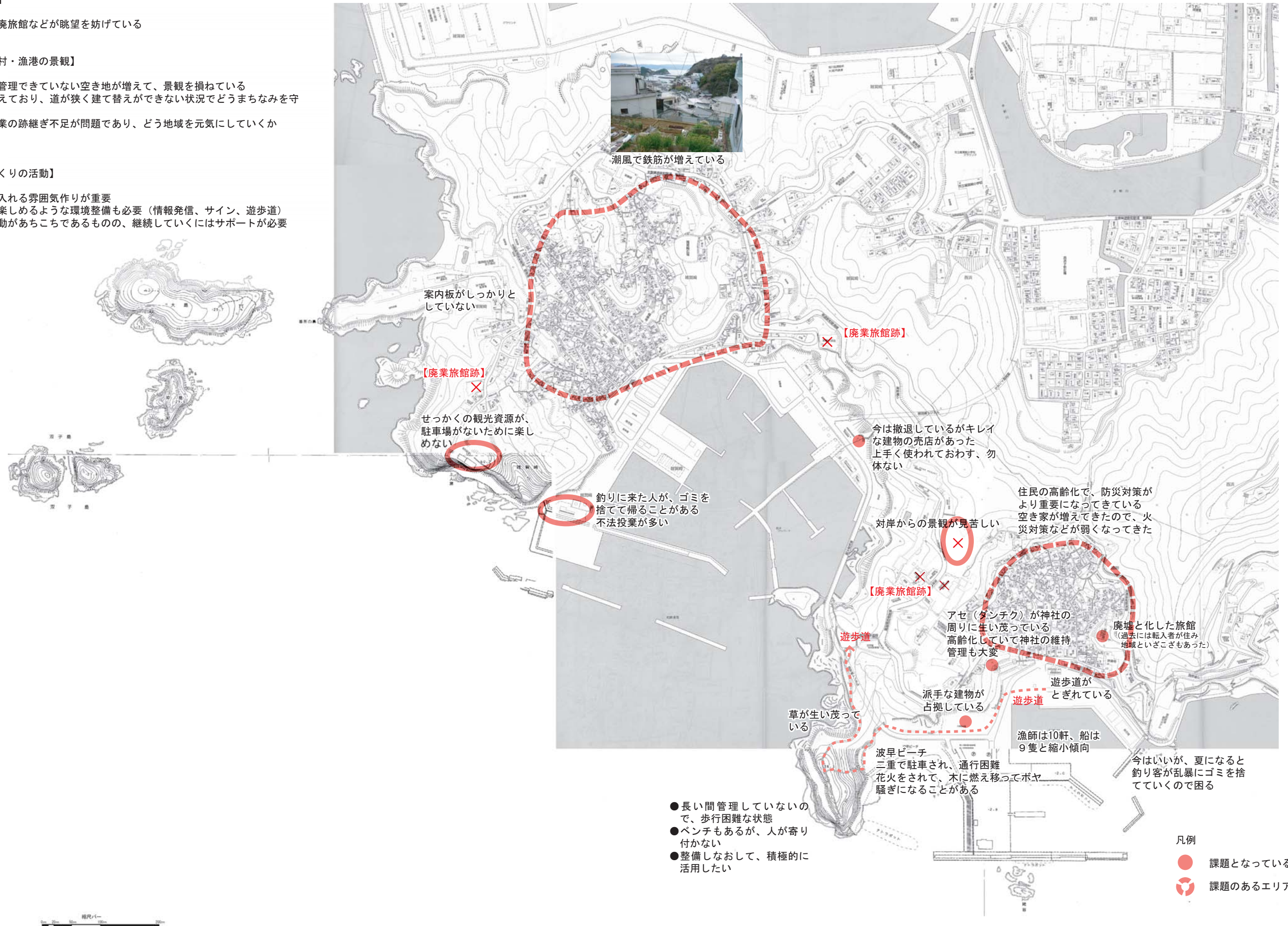
□ 放置された廃旅館などが眺望を妨げている

【特徴ある漁村・漁港の景観】

- 不法投棄や管理できていない空き地が増えて、景観を損ねている
- 空き家が増えており、道が狭く建て替えができない状況でどうまちなみを守るか
- 高齢化、漁業の跡継ぎ不足が問題であり、どう地域を元気にしていくか

【景観まちづくりの活動】

- 温かく迎え入れる雰囲気作りが重要
- 訪れる人が楽しめるような環境整備も必要 (情報発信、サイン、遊歩道)
- いろんな活動があちこちであるものの、継続していくにはサポートが必要



- 長い間管理していないので、歩行困難な状態
- ベンチもあるが、人が寄り付かない
- 整備しなおして、積極的に活用したい

- 凡例
- 課題となっているもの、場所
 - 課題のあるエリア等